

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

「現業機関における柔軟な働き方の実現について」提案

職名廃止・「業務融合」反対！ 必要なのは闘う労働組合

○現業すべての職名を廃止!?

これまでの職名	提案内容
営業、輸送、乗務、車両（技術）、施設（技術）、電気（技術）、事務	職名をすべて廃止。 「駅長・区長・所長、副長、技術専任役、主務、主任、指導係、係員」に統一

5月26日、「現業機関における柔軟な働き方の実現について」が提案されました。6月1日には「グループ会社での副業を認める」という通達が行われています。

提案では、「現業職すべての職名を廃止する」（営業）統括センターを現業機関として新設する」「駅業務と乗務業務の融合を進める」「柔軟な働き方」「フレキシブルな職場」などとうたわれています。

運転士・車掌の職名廃止と強制配転のジョブローテーションから、さらに攻撃をエスカ

○「柔軟な働き方」!?

※提案資料の「柔軟な働き方のイメージ」

◆日単位の柔軟な働き方

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
駅業務	駅業務+企画業務	乗務業務	訓練、除草・除雪等	駅業務+生活サービス

◆時間単位の柔軟な働き方

朝・出勤時	日中時間帯	夕方～
駅業務	訓練 除草・除雪 駅業務 事業店業務 資料作成 会議 etc...	駅業務
乗務業務		乗務業務

レポートするものです。

現場労働者にこそ力がある

会社は、鉄道業務と現場で働く労働者をあまりにも軽視しています。鉄道会社にとって本来もっとも大切なのは、安全や公共交通としての役割、働く者の生活や権利です。こんな提案は絶対に認められません。

すでに乗務員の兼務が行えるのは、JR東日本の「組合加入率が他のJR各社と比べて低い」（5月26日、日経産業新聞）からだと報じられています。職場に闘う労働組合を取り戻すことこそ、攻撃のエスカレーターを阻止し、会社が居丈高に攻撃を進める現状を変える力です。

鉄道を動かす力も、職場の現実を変える力もすべて現場労働者にあります。すべての仲間は職場から反対の声をあげよう。

鉄道を動かす力も、職場の現実を変える力もすべて現場労働者にあります。すべての仲間は職場から反対の声をあげよう。